

＜エコポリスセンター 地域エコロジー講座 詳細メニュー＞

No.	12	主な対象	乳幼児親子向け(児童館など5歳～推奨) 小学2年生まで向け(あいキッズ、寺子屋など) 一般区民向け(町会・自治会・サークルなど)
タイトル	土のこびと たい肥作り(SOE)		
テーマ	身近な自然、循環型社会	形式	講義+体験
所要時間	1時間	人数	30～40名
推奨実施時期	通年		
講師・費用	NPO法人センスオブアース・市民による 自然共生パンゲア(無償)	講師派遣数	3～4名
ねらい・内容	<p>■ねらい ○野菜くず・米ぬか・腐葉土を古土に混ぜて、新しい腐葉土を作る体験をする。 (プログラム実施の後の見通し) 2週間程、空気を入れるため良く振って腐葉土に仕上げ、野菜や 花を育てる体験につなげる。</p> <p>■内容 栄養一杯の土づくりをしよう</p> <p>① 土の話—微生物が土の中にすんでいる。植物が成長するのに必要なものは、土のこびとの微生物によって作られる栄養と、水と太陽。</p> <p>② 紙芝居「土の小人」を読む。親子で土に野菜くずを入れている、イチーのお庭。モークモク〜フーフフと、こびとの微生物は仲間を増やして、えいよういっぱい土になっていく。枯れそうだったいちごに、土を与えると、大きく育ってイチーや、畑の生きものたちが喜ぶお話。</p> <p>③ たい肥作り—牛乳パック(アレルギーがある子どもがいる場合はジュースなどのパック)を一人1つもち、4種類—古土・腐葉土・米ぬか・野菜の切れ端を刻んだもの—を入れて歩く。パックに7分目程度まで、入れる。(プリンカップに2杯ずつ入れて、楽しんで2周程度する。)</p> <p>④ 歌を歌ってよくふり、入れた4種が良く混ざるようにする。 全員で、洗濯ばさみでパックのふたをして、最近、大好きな歌をみんなで歌いながら、パックを上下に振って、よく混ぜる。</p> <p>⑤ ふりかえり 今日の活動で、混ぜた野菜くずは、これからどうなっていくだろう。みんなの想像・考えを発表する。感想を出し合う。</p>		
依頼元にご用意いただく材料等	<p>① 3日分ほど、調理の時に出了野菜くずを用意。(指導者など)半日ほど、日陰などで、干しておく。20人でざる一杯程度。一人分、片手に一杯。(玉ねぎは分解が遅く、入れない)</p> <p>② 腐葉土、古土はプリンカップ各人4杯、米ぬかカップ一杯程度 (米ぬかは、米店、精米所で40人分で、50～100円程度)</p> <p>③ 牛乳(ジュース)パック—人1個(底にキリなどで、大人が15個ぐらい穴を開けておく)</p> <p>④洗濯ばさみ—人1つ</p>	講師側準備物	<p>①紙芝居 ②古土 相談で持参可 ③ふりかえりカード ④依頼団体へ、ふりかえりカード(指導者向け)</p>
依頼元に必要な設備・機材	<p>①ブルーシートなど、大2枚程度 ②バケツか段ボール 4つ、プリンカップ8個 ③みんなが好きな歌 (携帯に録音したものなど)</p>	実施場所	申し込み団体の会場ホール可、会議室 良い天気ならば、外も可 エコポリスセンターの視聴覚ホールなど
依頼元必要スタッフ数	全体責任者1名+20人に1名程度の支援者(要相談)		
打ち合わせ	【対応時間】9時～17時 ・電話かメールで連絡がとれるようお願いいたします。NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲアのスタッフからご連絡差し上げます。場合によっては直接会場で下見・打ち合わせをさせていただきます。成人向けは、牛乳パックではなく、段ボールや、ビニール袋で行います。要相談。		
その他	講師謝礼につきましては、エコポリスセンターにて負担いたします。 ★確定した【参加人数・班人数】を開催10日前までにご連絡ください。		